

令和2年7月20日

日光市長 大嶋 一生 様

日光市議会議長 生井 一郎

### 新型コロナウイルス感染症対策に係る要望（その2）

令和2年7月20開催の日光市議会新型コロナウイルス感染症対策特別委員会において決定した要望を下記のとおり提出いたします。

#### 記

- ・新型コロナウイルス感染症で大打撃を受けた観光事業を回復させるために、観光客を迎え入れるための体制をより一層整備し、体験型観光事業やテーマパーク等を含めた滞在型宿泊事業を検討すると共に、観光PRのCMやポスター等を早急に作成し観光誘客につなげること。
- ・ホテル・旅館等の宿泊業者は、三密回避の対策として、入込客を通常営業の50～70%にする等の対策をとったりしているが、採算が取れないということである。加えて平日の集客の落ち込みが非常に厳しいということであるので、平日限定のクーポンなどの支援策を講じること。
- ・県境をまたぐ移動自粛等の影響により公共交通機関の利用者が激減している。特に首都圏からの大動脈であるJR・東武鉄道、二次交通のバス・タクシー等にも大きな影響をもたらした。GoToキャンペーン等の観光施策に取り組むにあたって、公共交通機関の利用促進を図る支援策を講じること。  
また、第三セクターの野岩鉄道、わたらせ渓谷鉄道支援策の沿線自治体との協議の開催及び福島県、群馬県、栃木県への事業収入激減支援の要望をすること。
- ・国のGoToキャンペーンでは、国内の旅行者をターゲットに全国展開となり、客の取り合いとなることが予想される。従来の日光観光イメージに加え、新たな日光の魅力の創出や再発見メニューを作り出すこと。また、観光協会等に専門員を配属、あるいは委託事業により商品開発、キャンペーン、Webサイトのコンテンツの充実を図るための費用の確保すること。
- ・新型コロナウイルスの影響で、県内の学校が県外への修学旅行が実行できない場合、思い出に残る修学旅行代替商品を開発し、県内の学生を日光に迎え入れるための費用の助成事業、プロモーションを行うこと。

- ・材木価格が非常に急落しており、素材生産者は出荷を控えていると聞いている。日光市の林業を守るためにも、山から材木を運ぶための送料を補助する等々の支援を講じること。
- ・季節性インフルエンザが流行する時期に新型コロナウイルス感染症の第2波3波が発生した場合、医療機関の混乱が危惧される。早めにインフルエンザの予防接種をするよう市民に喚起するとともに、医師会と事前準備等を協議し、様々な対策を講じること。特に助成対象外である中学校1・2年生、高校1・2年生を助成対象に加えること。
- ・避難所における衛生環境対策として必要な物の備蓄体制を整えること。  
また、日光市では福祉避難所が34か所ということであるが、市全体が被災した場合にはこれでは間に合わないというような話もある。第2波に備えて、ホテル・旅館等の民間施設借り上げも視野に入れ、福祉避難所の拡充と避難所対策を十分に準備しておくこと。
- ・市内医療機関へのオンライン診療環境整備のための支援に取り組むこと。
- ・医師・看護師等の医療従事者や、消防・救急従事者、介護・障がい福祉従事者等、感染リスクが高い環境で業務を行っている方への感染予防機材の安定的な供給を図ること。
- ・学校における消毒関係、子供たちの健康状態の把握など、先生の業務が過重負担になってきている。行事の見直しを行うとともに、教員増や支援サポーターの配置など、外部委託なども含め、負担軽減を図ること。
- ・子供たちの感染症理解のための、感染症予防教室を開催するとともに、小中学校・保育園・幼稚園に消毒液等の消耗品を安定的に供給すること。  
また、小中学校の各教室に「非接触型体温計」を配備すること。
- ・エアコン未設置の小中学校に、感染予防の換気対策や熱中症予防のため、網戸やサーキュレーターを設置すること。